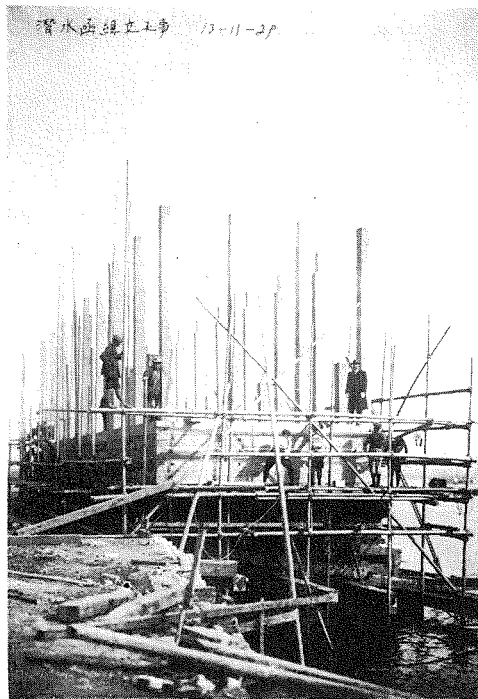
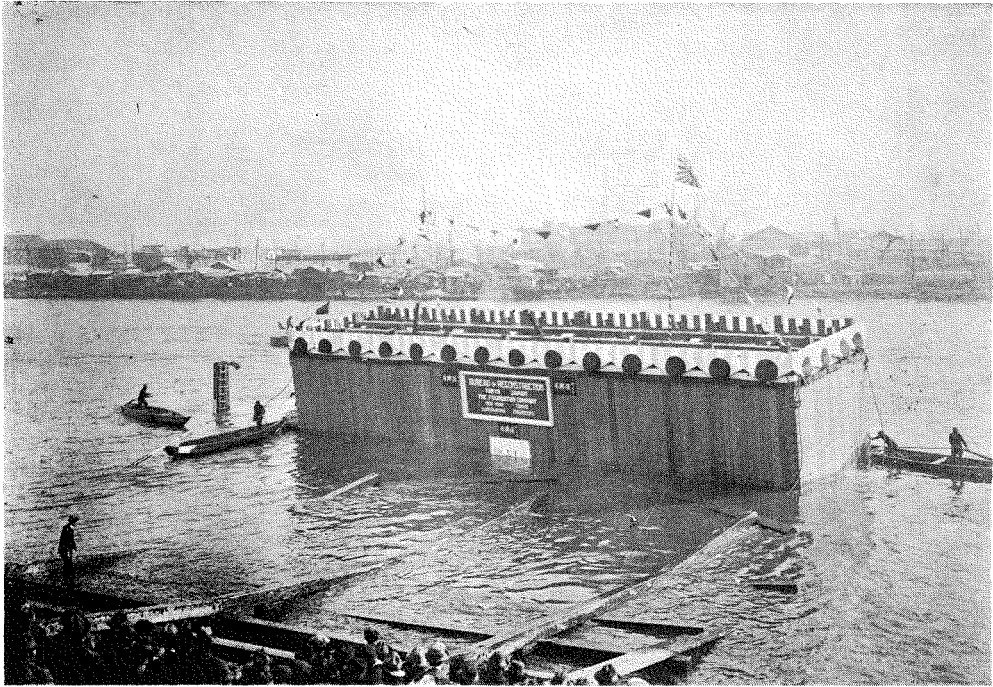


潜函下部に滑走臺を挿入せんとする處

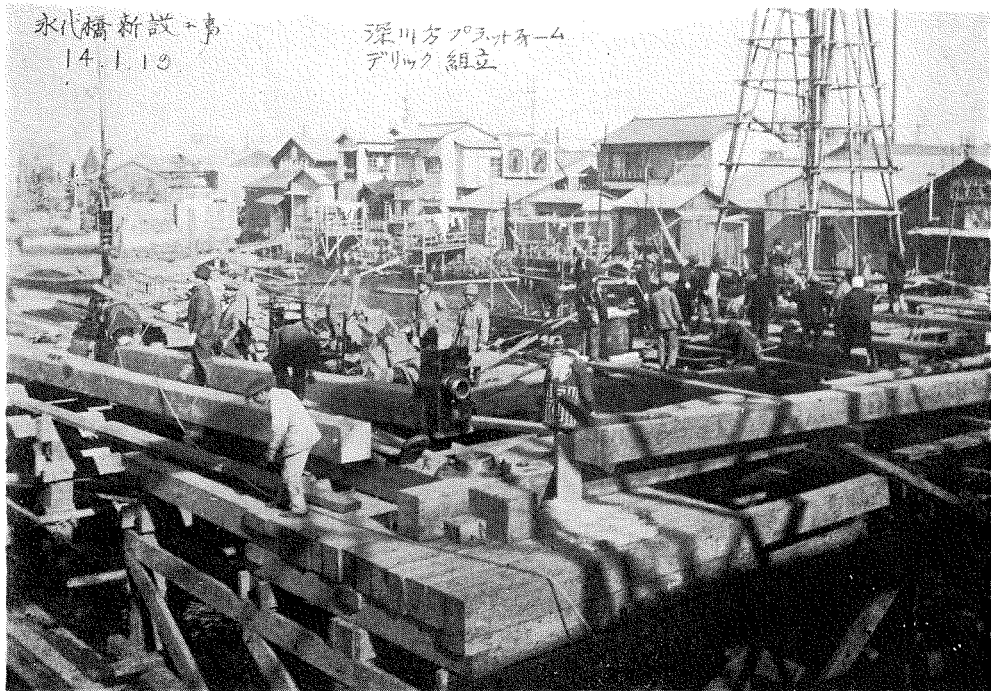




ケーソン進水

新永代橋橋脚基礎潜函(ケーソン)一部

幅二十呎 長八十呎 高二十二呎
圖は藏前復興局材料置場にて大正十三年十二月二十日進水式
舉行直後の光景
復興局橋梁課設計
使用材料、木材約八千三百立方呎、鐵材約六噸半
使用機械、ブラウンホイスト十五噸起重機、壓搾空氣錐
着手、大正十三年十一月二十日
工事監督、正子技師、鈴木技師、米人囑託ヒューズ技師、ク
ラフト技師、イングランダー技師
進水臺滑走臺及び潜函一部の工費總額約四萬圓



新永代橋基礎工事深川方デリック組立

各橋臺之に隣る橋脚之の中間にプラットフォームを設け之に
材料操作のためデリック三臺を据付け更にコンクリート川鐵
塔及び材料函を設く豫定なり

寫眞は深川方プラットフォームに最初のデリックを据付る景
大正十三年十二月一日工事着手

監督者、森田技師

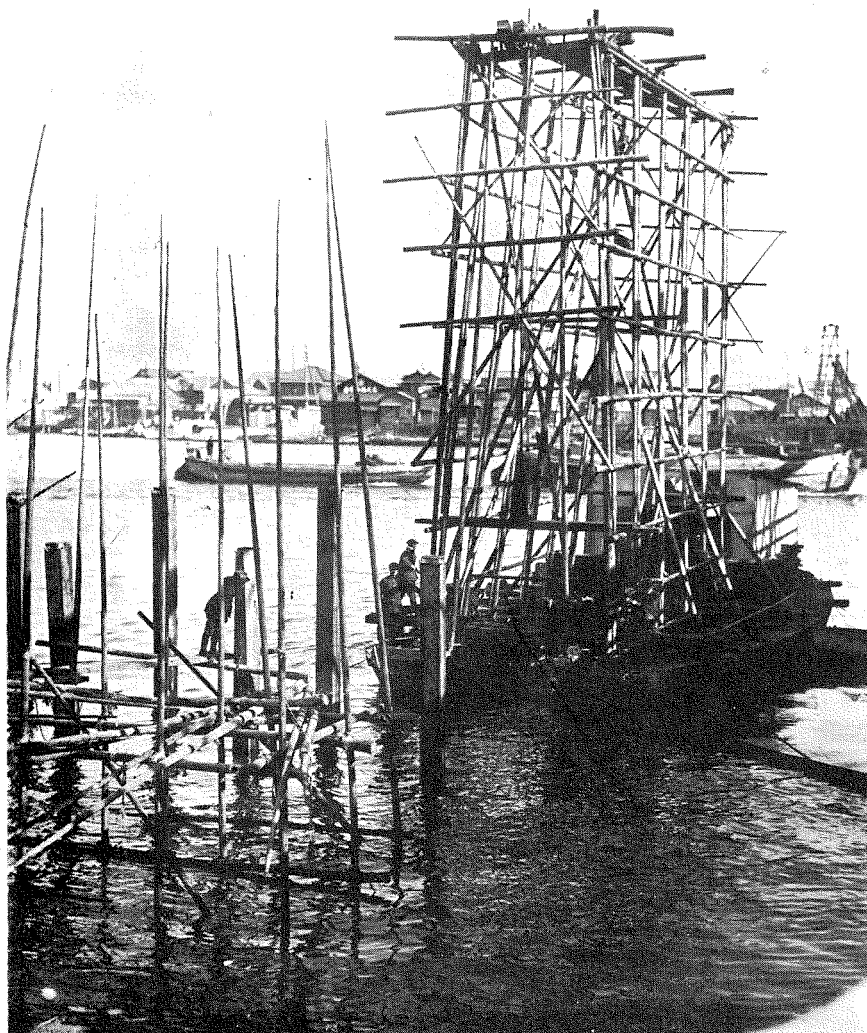
直營工事

プラットフォーム建設工費約貳萬九千圓

デリック組立コンクリート材料函製作取付工費約參萬一千圓

永代橋新設工事
14.1.19

京橋方プラットフォーム 杭打



プラットフォーム 杭打

新 永 代 橋
京橋方のプラットフォームの基礎杭を打込中の景